

平成24年(2012年)9月28日

教職員各位

危機管理委員会委員長

ヒヤリハット事例のオンライン報告及び事例集公開について

本学では、危機管理の一環（危機管理規程第3条（※次頁参照）に規定する事項）として、学生及び教職員が経験するヒヤリハット事例（就学・就業時において、怪我・病気等には至らなかった場合もしくは軽微な怪我等で済んだ場合でも、重大な事件・事故に繋がる可能性もあったような「ヒヤリ」又は「ハット」すること）を報告していただき、それをヒヤリハット事例集として公開することにより、学生及び教職員の注意喚起を促すとともに、今後の就学・就業環境の改善を図り、もって重大事件・事故の発生防止に役立てることとしました。

つきましては、下記の要領で報告のご協力をお願いいたします。

記

本学のホームページの「教職員専用」の中に、「ヒヤリハット報告・事例集」を設定します（設定は10月中に行う予定）。そこにアクセスしていただき、所定のフォームに入力して報告してください。報告された内容は、原則として同じサイト内にヒヤリハット事例集として公開していく予定です。（報告された事案は、氏名等の報告者の個人情報以外は、原則として全て公開します。）

※報告事例の範囲について

本システムは、大学における危機事象の発生を未然に防止する目的で導入したものです。したがって、報告していただく事案の範囲は、重大な事件・事故に繋がる恐れのあるものであれば、特に限定はしていませんが、疑問があれば事務局までお問い合わせください。

【報告例】・転落、転倒、挟まれ、（物の）落下・飛来で負傷した（又はその可能性があった）。

- ・発煙、火災、漏電、漏水、爆発等が起こった（又はその可能性があった）。
- ・交通事故、盗難、暴力・暴言行為、痴漢等の事件に遭遇した（又はその可能性があった）。
- ・教職員と学生間、教職員間のトラブルが生じた（又は生じそうになった）。

問い合わせ先：危機管理委員会事務局（総務管理部長 5772・総務グループリーダー 5774）

○公立大学法人山口県立大学危機管理規程

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、公立大学法人山口県立大学(以下「本学」という。)及び本学の周辺において又は本学の構成員(役員、教職員、学生等)の身の上において発生又は発生することが予想される様々な事象に伴う危機に、迅速かつ的確に対処するため、本学における危機管理体制及び対処方法を定めることにより、本学の学生、教職員、近隣住民等(以下「学生等」という。)の安全確保を図るとともに、本学の社会的な責任を果たすことを目的とする。

——第2条 略——

(対象とする事象)

第3条 この規定に定める危機管理の対象とする事象は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 教育研究活動の遂行に重大な支障のある事象
- (2) 学生等の安全に係わる重大な事象
- (3) 施設管理上の重大な事象
- (4) 社会的影響が大きい事象
- (5) その他前各号に相当するような事象であって、組織的・集中的に対処することが必要と考えられる問題

——第2章以下 略——

ヒヤリハット事例のオンライン報告（例2）

1. 発生日時 ○○年○○月○○日 ○○時頃

2. 発生場所 (例) ○号館○○研究室

3. 何をしようとしていたか
 (例) 授業の準備をしていた。

4. 何が起こったか
又はどうなると
思ったか
(ヒヤリハットの
内容)

(例) ブレーカーが落ちて、停電した。

5. 何が原因と考えられるか
 (例) 本棚の後のコンセントがたこ足になっていて、その重みで電源プラグが抜けかかっていた。そこに金属製品の一部分が触れて漏電を起こしたと思われる。

6. 教訓・反省・
今後の対策等
 (例) コンセントが見えない箇所にある場合は、そこがたこ足にならないように気をつける。コンセントの回りに金属製の物を置かない。

学生 教職員 非公開を希望

所属（学部学科等、学年（学生の場合）） ○○学部○○学科

氏名 ○○ ○○

電話番号（内線、携帯等）

メールアドレス

ヒヤリハット事例のオンライン報告（例3）

1. 発生日時 〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇時頃

2. 発生場所

(例) 〇号館と〇号館を結ぶ通路（〇〇付近）

3. 何をしようとしていたか

(例) 〇号館から〇号館方向に向かって歩いていた。

4. 何が起こったか
又はどうなると
思ったか
(ヒヤリハットの
内容)

(例) 駐輪場方向から来た自転車とあやうく接触しそうになった。

5. 何が原因と考えられるか

(例) 自分も自転車に乗っていた人も注意が足りなかったこと及び自転車のスピードが速かったこと。

6. 教訓・反省・
今後の対策等

(例) 見通しが悪い箇所では、回りを見て安全を確認する。

学生 教職員 非公開を希望

所属（学部学科等、学年（学生の場合）） 〇〇学部〇〇学科 〇年

氏名

〇〇 〇〇

電話番号（内線、携帯等）

メールアドレス

- 報告方法
1. 上記項目の1から6まですべてに入力してください。
 2. 学生・教職員のどちらかにチェックを入れてください。
 3. 非公開を希望する場合は当該欄にチェックを入れてください。
 4. 学生は匿名も可とします。その場合、報告者情報欄（所属・氏名・電話番号・メールアドレス）の入力の必要はありません。なお、教職員の匿名での報告は不可とします。
 5. 報告された事例は、報告者情報（所属・氏名等）以外、項目1から6の内容を、原則そのまま公開としますが、報告者が非公開を希望した場合、又は学長が公開すべきでないと判断した場合は公開しません。また、報告内容に他人の個人情報を含む場合等で、そのまま公開すると支障が生じる恐れのある場合、事務局で修正を加えた上で公開する場合があります。
 6. 上記を確認の上、報告ボタンを押下してください。
 7. 報告者情報に関しては、情報漏洩等がないよう事務局及び情報化推進室で厳重に管理し、報告された内容に関しては、制度の目的に沿った使用に限定します。